

# 桜島地域での 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:平成27年5月22日(金)18:00～19:00

場所:桜島公民館

※平成27年度 第1回目

平成27年7月

鹿児島市 市民協働課

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年5月22日(金)18:00~19:00  
場所:桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	みんなの桜島協議会 男性	① 観光業をやっており、桜島の噴火に対しての風評被害がとても問題になっている。昨日も4,300mの噴煙を上げて、全国ニュースにもなってしまう、今朝からキャンセルと「本当に大丈夫なんですか」という問い合わせをたくさんいただいている状況だ。風評被害についてなんとかならないか。平穏な桜島だが、県外の方からの目というのは、「行ったらどうかしてしまうのではないか」「大変なことになっているのではないか」という誤解が遠くの方にはあるのではないかと思う。力をいただいて、なんとか観光振興をやっていければと思う。	桜島の噴火に対しての風評被害は、鹿児島市だけでなく周辺の自治体などでも悩ましい問題と受け止めています。昨年の御嶽山の噴火や箱根山のこともあり、日本列島が対応に追われているのも事実です。 風評被害が色々な面で悪影響を与えているのは事実であり、お話にあったように桜島においても宿泊、観光のお客様が減っているという状況も報告を受けています。 私どもも出来る限り色々な地域に行った際は、桜島地域にいる方も日常生活をまったく障害なく生活を送っているという発信をしています。 また、鹿児島市のホームページや観光案内所でも桜島の観光情報とともに、桜島に対する防災対策をしっかりとっており通常通り楽しんでいただけますと情報を発信しています。首都圏の新聞や雑誌の記者等を招へいして、桜島の観光資源や観測体制などのPRをしているところです。 今後ともこのような媒体を通して、桜島の爆発に関する安全性、観光名所としてのすばらしさをしっかりと発信していきたいと思っています。また、鹿児島市だけでなく、県全体に影響があるので、各自治体とも協力・連携をしながら、風評被害に対する対策もしっかりしていきたいと思っています。	経済局	市長回答のとおり
2	桜島見直し隊 男性	② 市長は市民が主役と言われた。私は何かあると行政にすぐ電話をして行動をするが、何か要望すると、そんな特例はないとか、同じ鹿児島市民だからということで済まされている。同じ鹿児島市民でも、桜島の場合は色々なリスクを背負っている。桜島フェリーにしても、鹿児島市と旧桜島町、東桜島では利用する量は全然違う。ダイヤ改正をしたが、みんな不便な思いをしているのが事実だ。できれば利用者の立場で、現場に向向いていただいて、状況を把握していただいて、色々な検討していただきたいと思う。	フェリーは4月にダイヤ改正をしました。これまで常時運行する船舶について5隻体制だったものを4隻体制にして、効率性に鑑みて改正を行いました。 桜島フェリーは生活路線でもあり、観光路線でもあり、大隅地域と薩摩半島を結ぶ路線でもあります。 船舶事業は企業会計ですので、経営状況によりこのような対応を取りました。 不便を感じているということですが、ダイヤ改正をしたばかりですので、今後検証をして改善すべきところはしていかなければと思います。また、先ほど申し上げましたとおり企業会計ですので、赤字では大変ですから、これまでとは船舶事業をとりまく環境も変わってきていることをご理解いただきたいと思います。	船舶局	平成27年4月に実施しましたダイヤ改定は、船舶事業経営計画に掲げており、新船導入による1便当たりの輸送量の増加、桜島、大隅方面の人口減少、燃料価格の高止まり等を踏まえ、厳しい事業環境の中で、時間帯ごとの輸送実績の分析結果等をもとに、改定しました。 改定により、お客様にはご不便をおかけしている面もあるかと思いますが、今後も、安全、快適で24時間運航が継続できますよう、効率的な事業運営に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。 なお、当ダイヤにつきましては、様々な角度から検証していきます。
		③ 桜島の爆発で灰が降らない日はないというくらい降っている。みんなから出ている話が、最近水道を使う量が多いので水道代が非常に上がっていて経済的に大変だ。特例はないとかそういうので済ますのではなくて、少しでもいいので見直しをいただいて、桜島の住民が少しでも住みやすい島になるように、もう少し地元を大事にしていきたい。	降灰の量は風向きによってだいぶ左右されていると思います。S52、3年のどこか灰が降った頃から、このような問題が起こっていますが、場所によって降灰の量が違い、それぞれの地域で水道を使うという格差はあると思っています。 鹿児島全域に影響があるということであれば考えなければいけないのですが、限定的なものに関しては難しいと思います。水道も皆さんの料金でまかなっていますので、企業会計の中で対応しなければならないという事情があり、特定の地域だけにとするのは難しいと思います。	水道局	水道局は、公営企業として独立採算制をとっており、また、その事業運営はお客様からいただいた料金収入によって成り立っています。水道事業は重要なライフラインであり、健全な経営を維持し、継続してサービスを提供していくことが求められます。 よって、受益者負担の原則の下、使用した水量分の料金は、お客様にご負担いただいています。 また降灰地域は、市域全体にわたっており、降灰による水の使用量への影響を特定の地域のみを対象として、料金の減免につなげることは難しいと考えます。

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年5月22日(金)18:00~19:00  
場所:桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	桜洲校区公民館運営審議会 男性	④ 高齢化・人口減少化の桜島の活性化の施策についてどう考えているか。	少子高齢化については、桜島町に限らず、鹿児島市全体がそういう状況に進んでいくと思います。それぞれの地域で、皆さんが生きがいを持って暮らせるという対策を進めて行くことが、少子高齢化対策だと思います。桜島の地域で農業を進めるうえでも農業の降灰対策を進めたり、克灰住宅をつくったり、公園整備をしたりすることで、その地域に住むという環境整備が出来てくると思います。	企画財政局	桜島地域のまちづくりににつきましては、第五次鹿児島市総合計画において、活発化する桜島の火山爆発に対応できるよう総合的な防災対策を推進するとともに、農林水産業の振興、観光機能の充実、地域活動を展開しやすい環境づくりを進めることなどを基本的方向として掲げています。 桜島地域の活性化については、引き続き、総合計画の地域別計画等に基づき取り組むこととしていますが、27年度から28年度にかけて同計画を見直すこととしており、その中でも検討していく必要があると考えています。 また、今年度策定する地方創生総合戦略においては、本市における少子高齢化や人口減少に対応する施策を盛り込むこととしています。
		⑤ グラウンド周辺のモータープールの広さをもう少し広げることはいかないか。そのようなことも含めて、グラウンド周辺の整備またはその他の構想はあるのか。	グラウンドは毎年計画的に整備をしています。モータープールについては、拡張や利用の対策を、実情を踏まえて今後していかなければいけないと思っています。	教育委員会	桜島溶岩グラウンド等体育施設の駐車場につきましては、体育施設の利用に際してほぼ充足していることから、現在のところ、整備の予定はないところです。 桜島溶岩グラウンド等体育施設の整備につきましては、今年度、桜島溶岩グラウンド第3グラウンドの土壌改良工事や桜島総合体育館の空調設備設置工事などを計画しています。 今後とも利用しやすい施設となるよう計画的な整備に努めていきます。
		⑥ 私はまだ桜島町の方がよかったと思っている。実際鹿児島市になって駐車場代は上がり、モータープールも100円取られるようになり、とてもたまったものではないという感じがした。桜島町が鹿児島市になった利点は何なのか。	1市5町が合併する際に、新市まちづくり計画というものを、それぞれの町や鹿児島市とで結んでいますので、新市まちづくり計画に基づいた対策・対応をしています。アイランドビューを走らせたり、それぞれの地域の施設の改善などもしています。 桜島町時代は、それぞれの自治体として発展してきたと思いますが、合併しましたので、これからは鹿児島市として、1つの自治体として、これからのまちづくりを進めていかなければいけないです。新しい鹿児島市になって10年経ちましたので、それぞれの地域の特性を生かしたこれからのまちづくりを進めていくことで、地域の皆様の納得が得られると思っています。	企画財政局	市長回答のとおり
		⑦ ドクターカー・ドクターヘリというのがあるが、桜島町独特のドクターシップというのには考えていないのか。	ドクターカーにしてもドクターヘリにしても、まずはこれらを活用して、市民の方々の命をしっかりと守ることを確立する対策をしたいと思っています。ドクターカー・ドクターヘリの運営をしっかりしていきたいと思っています。	市立病院 消防局	【市立病院・消防局】 桜島地域の救急要請については、鹿児島市立病院を基地病院とするドクターカー及びドクターヘリに加えて、島内に2台の救急車を配備し対応しています。 また、桜島東分遣隊に配備している救急車を今年度高規格化し、さらに救急業務の高度化を図ります。

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年5月22日(金)18:00～19:00

場所:桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	桜峰校区公民館運営審議会 男性	⑧ 各集落に運動公園があるが、合併前の旧桜島町スポーツ課で作っているものなので、公園管理をしてもらえずに、地域で管理してくださいとなっている。公園も少し広く、少子高齢化で地域で管理することが難しくなっている。市の方から何かお手伝いいただけないか。	担当課には伝えたいと思います。伐採などの大規模な公園管理は、市がすべきだと思います。日頃の草刈などは地域の協力を得て管理していただきたいと思いますが、大きなものについては担当課の方で対応しなければならないと思います。	教育委員会	桜島地域運動広場の管理につきましては、日常的な清掃などはこれまでどおり地域の皆様に行っていたと考えています。 なお、地域で処理を行うには負担が大きい伐採等につきましては、市で対応していきます。
5	東桜島校区公民館運営審議会 男性	⑨ いま校区公民館運営審議会から地域コミュニティ協議会にかわるということで準備している。この夏を目指して設立総会にこぎつけたいと考えており、地域振興課の研修会や東桜島支所のご指導をいただきながら進めている。これについて市長の思い入れを聞いて、活力にしたいと思う。	これまで校区公民館運営審議会は、町内会やあいご会、小中学校の代表の方々を集まりで、その地域の色々な課題を討議・検討してきたと思います。 私の目指している地域コミュニティ協議会は、母体としては校区公民館運営審議会になりますが、NPOや地域の事業者、医療機関、福祉施設など色々な団体の中に入ってもらい、地域を自分たちの力で、自分たちのまちの活力や活性化というものをつくっていただく、コミュニティ協議会が中心になって、そのまちを運営していただきたいという思いです。 あいご会や町内会などでは、たぶん地域の重鎮の方々ほとんどどの役を担っていると思います。役を担っている方々の負担というのは大きいと思いますので、スリム化して、役割を皆さんに担っていただき、協議会の中に入っていただき、その中で地域の課題を抽出し、改善のために皆さんで考えてもらいたいというのが協議会の設立の目的です。 今後全域に広がった際には、今までは各事業に対して補助金を出してきましたが、それを一括して運営補助金として、最終的には協議会が柔軟に弾力的に使えるような資金の提供をして、まちづくりを進めてほしいと思っています。	市民局	地域コミュニティ協議会は、町内会をはじめとした既存の地域コミュニティ組織に加え、NPOや事業所、医療機関、福祉施設など、校区内で活動している各種団体が連携・協力して、地域の課題解決や資源活用など地域主体のまちづくりに取り組むために設立します。 設立後の協議会では、自分たちの地域のまちづくりの指針となる地域コミュニティプランを策定し、プランに基づく活動が展開されることで、地域コミュニティのさらなる活性化につながるものと考えています。 協議会活動を進める中では、役割を分担し、個人の負担軽減や参加者の拡大を図っていただきたいと考えています。 また、補助制度のあり方については、地域の声を聞きながら検討していきたいと考えています。

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年5月22日(金)18:00～19:00  
場所:桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	改新校区公民館運営審議会 男性	⑩ 改新コミュニティ協議会は明日10時から設立総会を始める。協議会の趣旨というのは、いま市長から説明していただいたとおり、古里町はみんな一致団結している。東桜島支所長のお手伝いをもらいながら設立総会にこぎつけたところだ。改新地域は旧改新小学校が休校だったが、廃校になり、改新活性化事業に格上げになり、事業が動き出すということでお礼を言いたい。 古里町には温泉街と林芙美子碑があるが、市には林芙美子をお客さんが満足できるようなところにしてもらえないかという話もしてきている。今度6月27日に林芙美子碑のつどいというものを行うが、今年で35回目を迎えている。色々な方をお招きして、大いに盛り上げていきたいと思っているので、林芙美子をもうちょっと大きなものにしてほしい。	古里といえば林芙美子ということで、公園も環境整備を進めてきています。また、駐車場の整備もしましたが、環境整備にしっかり取り組んでいきたいと思います。桜島はこのように特性のあるものがたくさんありますので、それを活かしながら対策をとっていききたいと思います。	経済局 建設局	<b>【経済局】</b> 鹿児島市観光サイト「よかとこかごんまナビ」や鹿児島市で作成しているガイドマップ「旅ガイド鹿児島市」、「桜島錦江湾ジオパークガイドマップ」において林芙美子文学碑について紹介を行っています。 今後も継続して情報発信を行っていきます。  <b>【建設局】</b> 林芙美子文学碑のある古里公園は、多目的広場や駐車場を備える公園として、平成12年3月に整備を行っており、現在も観光客をはじめとする多くの方々が訪れています。同公園については、今後も適切に維持管理を行い、来園者が快適に利用できるよう取り組んでいきます。
7	黒神校区公民館運営審議会 男性	⑪ 路線バスの件でお願いがしたい。現在、黒神・桜島口行きのバスが白浜で乗り換えになっている。その際10分弱待ち時間がある。旧桜島町時代は行政が違うから仕方ないと思っていたが、桜島町が鹿児島市に吸収合併されてからも全然進展していない。赤字路線というのは重々分かっている。バスを利用するのは、高齢者と小学生がほとんどだ。直行便というのを出来ないかと思っている。	いまお話にあったように、桜島地域のバス路線は赤字でありますし、赤字補填は行政としてやっています。市営バスが出ていますし、民間バスも出ています。バスの運営・経営に関係あるだろうと思いますが、バスの事業者にも伝えておきたいと思っておりますし、そういう形で出来るのかということも可能性を検討していきたいと思っております。	交通局	東白浜での接続時間につきましては、乗り換えるバスが可能な限り定刻に発車することで、途中のバス停でお待ちのお客様へも配慮しながら、時刻を設定しているところです。 また、ある程度の接続時間を設けることにより、高齢者や体の不自由な方も慌てず、安全に乗り換えていただけることで、車内事故の防止を図れるものと考えています。 また、直通便につきましては、平成24年4月のダイヤ改正時より、一部の便において運行していますのでご利用ください。

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年5月22日(金)18:00~19:00

場所:桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	桜島民生委員児童委員協議会 男性	⑫ 4月1日からのフェリーのダイヤ改正については、経営上もっともな手段だろうと思う。通勤・通学の方々から、最近よく、フェリーの待ち時間等が不便になったと聞く。例えば、いままで6時15分というフェリーがあったが、これを利用して利用者は6時の船でなければ間に合わなくなった。夏場はいいが、冬場の15分は大変だという話を耳にしている。それと、いままで所要時間15分だったのが、いまは20分、ある時は25分、鹿児島側の第一埠頭、第二埠頭の間で沖待ちする場合が非常に多い。今までは「待たずに乗れる桜島フェリー」というのがキャッチフレーズだったが、いまは「待たなきゃ乗れない桜島フェリー」になっている。また、バスとの連絡がうまく配慮されているのだろうかという声も聞いている。	ダイヤ改正については、待ち時間が出てきた、また6時15分のフェリーがなくなった、ダイヤにして26便減便になったということですが、企業経営からそのような対策をとったこと、またフェリーが5隻体制から4隻体制になったこと、そして二層船になったことでそのような対応をしました。 ダイヤ改正が始まったばかりで、これから皆様方の要望が出てくると思いますので、検証をして船舶局で対応をしていなければいけないと思います。また、危険性を伴うということはいけませんので、それらも踏まえた対応をしていかなければいけないと思います。	船舶局 交通局	【船舶局】 桜島フェリーについてダイヤ改定を実施した結果、沖待ちが生じ、運航時間が長くなっている場合があります。現在、検証等を行っています。 また、今回のダイヤ改定によって26便が減便となり、桜島港発6時15分の便も改定により運航がなくなっております。早期の便については、いずれも通勤、通学等で利用いただいていたところであり、その他の早期の便はそのまま維持できたところですが、同便はダイヤ編成の全体的な調整のなかで減便せざるをえないものとなったものであり、ご理解をいただきたいと思っております。  【交通局】 バスのダイヤを全てのフェリーの発着時間に合わせることは難しいところですが、運行本数については、これまで通り確保しているところですので、ご理解いただきたいと思っております。
		⑬ 高齢者宅の降灰除去について、高齢者が自分で宅地の周りの降灰除去するのは大変な作業だ。最近の降灰の量は、なんとか取ったと思ったら、また降って積もっているという状況だ。ボランティアの協力といっても、全体的に高齢化しているので難しい。一人世帯・高齢者の降灰除去を行政の手で考えてもらえないか。	高齢者宅の降灰除去については、降灰だけでなく、ゴミのこともあるという風に思います。 今後、高齢社会になると、ますますそのような需要が高まってくると思います。桜島地域だけでなく、市域全体で考えなければならない大きな課題ではなからうかと思っております。今後対策については、しっかりと検討をしていかなければいけないと思います。 今は結論は言えないですが、色々と地域の皆さんにご協力いただければと思います。	健康福祉局 市民局	【市民局】 宅地降灰除去については、活動火山対策特別措置法において、集積場所から埋め立て処分までが補助対象となっており、集積場所に出されたものを市が収集・処分することとしています。 私有地の降灰除去については、国に対して助成の要望を行ったが認められなかった経緯もあります。 集積場所の新設に関しては、よりきめ細やかに対応できるよう町内会の求めに応じて設置しています。 高齢者等に対する支援という面から、町内会や自主防災組織による取組を含め、関係部署と検討したいと考えています。  【健康福祉局】 要介護または要支援認定を受けている方々については、それぞれのケアプランにより、日常生活に必要な範囲内についてホームヘルパーによる降灰除去の支援が可能ですので担当のケアマネージャーへご相談ください。 なお、介護保険制度上、宅地内全体の降灰除去は対応できないことをご理解いただきたいと思っております。

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年5月22日(金)18:00～19:00  
場所:桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	東桜島民生委員児童委員協議会 女性	⑭ フェリーターミナルの女子トイレだが、鹿児島の方は洋式便所が1つ、桜島の方は洋式便所が2つある。いま年寄りの家は大体洋式便所になっている。また、外国の方もたくさん来ているので、どうかしてほしい。	桜島港フェリーターミナルの女子トイレについては、いまターミナルの整備をするということで、今後計画を立てていきますので、その際には洋式トイレを作っていきたいと思えます。 今のトイレを改修することについては、船舶局と協議をしなければいけないと思えます。まずそういうスペースがあるか、今のトイレを改修するのは簡単ですが、他にもできるかどうかということについては、伝えておきます。	船舶局	現在の桜島港フェリーターミナルの女子トイレの数は9つ、うち洋式トイレの数は3つとなっておりますが、新ターミナル3階の女子トイレの数は6つで、うち洋式トイレの数は5つとする予定です。 なお、1階エントランスホール横の女子トイレの数は4つで、うち洋式トイレの数は3つとする予定です。 また、鹿児島港フェリーターミナルについては、施設管理者である県に要望いたしました。
		⑮ 桜島フェリーの誘導員の態度が悪い。べちゃくちゃと喋っている。普通、工事現場の誘導員は安全帯を付けていて、安全帽もかぶっている。この人は普通の帽子だ。態度が目について、ものすごく不愉快な思いをしている。もう少しいい方法で指導してもらえないか。	フェリーは企業経営ですので、お客様に対しておもてなしというか、接客がしっかりしていないと、経営が確かなものにはならないと思えます。船舶局にしっかり伝えたいと思えます。	船舶局	接客マナーの向上を図るため、外部講師による接遇研修を毎年行っておりますが、今後は現場での研修等も視野に入れ、職員の意識の向上を図ってまいります。 安全帽と安全帯については、誘導員の安全を確保するうえからも検討します。 今後ともお客様に気持ち良くご利用いただけるようサービスの向上に努め安全・快適な運航に取り組んでいきます。

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年5月22日(金)18:00~19:00  
場所:桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	桜島見直し隊 男性	⑯ いまよりみちクルーズが毎日出ている。船員にも話を聞いたが、平日はほとんど乗る人がいない。今度のダイヤ改正も赤字をどうにかするためにダイヤ改正をしたのだからと思う。合併して10年経ち、市長が市長なりに桜島のために一所懸命動いているのは分かるが、私たちから見ると、住民のためより観光客のための整備の方に力を入れて動いているように思えて仕方ない。赤字ならばよりみちクルーズを土日限定とかいう風に考えればいいのではないかと思う。市民が主役です、もうちょっと慎重に考えていただきたい。	よりみちクルーズは1つの目玉として、鹿児島から情報発信をして、多くの方々に桜島の魅力を感じて欲しいということで就航させました。今少しずつ定着してきていますので、続けていきたいと思えます。3月に新船が出来ましたが、クルーズ船の対応もしていかなければいけないと思えます。 やはり桜島を活性化するためには、まず地域の皆さんが住みやすいまち、地域をつくるのが最も大切ですが、また多くの方々に桜島のすばらしさを体験・体感してもらうことも交流人口の増加の道筋にもつながっていきますので、ご理解いただければと思います。	船舶局	市長答弁のとおり
		⑰ 南国交通に委託されて市営バスが走っている。その時ダイヤ改正をしないと聞いていたが、南国に移った途端大幅なダイヤ改正があった。みんな不自由でどうしようもないと、交通局に抗議の電話をした。何を基に決めたのかと聞いたら、アンケートをしたと答えた。どういう風にアンケートをしたのか、私の周りに答えた人はいないという話をしたら、代表3人に聞いたと言った。3人に聞くのは普通アンケートとは言わないという話をした。電話では話にならないから、会って話をしましょうという話をしたけど、結局来なかった。もう少し慎重に動いていただきたい。	大変不愉快な思いをされたかもしれませんが、バスの時刻については、やはり企業経営もありますし、また利用者の利便性をしっかりと踏まえた対策をするべきだと思います。私の方からも交通局や南国交通に話をしていきたいと思えます。	交通局	24年4月のダイヤ改正は運行管理の委託に伴うものではなく、交通局の経営健全化策の一つとして実施したものです。 ダイヤ改正については、24年2月に校区や地区の代表の方々に説明会を開催するなど対応させていただきましたが、アンケートの実施は行っておりません。 また、多くの方が利用される路線バスについては、多種多様な需要に全て対応することは難しい面があるため、人員機材に限りがあるなかで、採算面等も考慮しながら、できるだけ利用者の皆様の利便性の向上が図れるようダイヤ編成に努めていきます。
11	黒神校区公民館運営審議会 男性	⑱ 黒神は桜島でも一番降灰が多いところだ。校区公民館の降灰除去・草払いを年に2回やっているが追いつかない。生涯学習課にはそういう予算はないということだが、行政の援助を得て降灰除去できないものか。小学校・中学校の場合は校庭の降灰除去をするが、校区公民館の場合は生涯学習課に予算がないとのことだ。	相当量降れば、全域にロードスーパーなり、道路や下水道は行政がします。宅地内の場合は、桜島地域に限らず、市域全体で地域の皆様の協力を得ながら収集していただき、降灰収集所に持って来ていただき、それを収集しています。相当量降った場合には、検討しなければならぬと思えますが、是非協力をしていただければと思います。	教育委員会	桜島地域の降灰除去につきましては、現在校区の方々のご協力をいただき、行っているところですが、 対策等につきましては、今後、各面から検討していきたいと思えます。



# 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年5月22日(金)18:00~19:00  
場所:桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	みんなの桜島協議会 女性	⑱ ビジターセンターに勤務しているが、日本人のお客さんも来るが、ほぼ海外客で、一周ぐると観光したいという方も多い。市民が住みやすいということは、観光もしやすいということだと思う。バスを何とかしていただきたい。また、アイランドビューが、湯之平を巡るバスがあるが、トラブルが結構多い。バスが待たずに行ったり、満車で乗れなかったりとかいうがあるので、その調整をうまくしていただきたい。	アイランドビューについては、担当課に伝えます。今後は海外からの誘客もしっかりと進めていかなければと思っていますので、お伝えしておきます。	交通局 経済局	【経済局】 サクラジマアイランドビューは、桜島の主要観光スポットを約1時間で周遊するバスとして、これまで多くの観光客に利用いただいているところでございます。定時運行に努めるとともに、多客期には増便対応も行っているところでありますが、ご指摘の点については、交通事業者とも協議し、観光客が安心して快適に利用できるよう努めてまいりたいと考えています。  【交通局】 桜島の観光には、定期観光バスの自然遊覧コースもありますので、今後とも観光客の方にご利用いただくようPRに努めていきます。
		⑳ 私は鹿児島市街地から通ってきているが、鹿児島市側のターミナルのトイレから臭いがする。何が原因か分からないが、きれいにしていただきたい。	鹿児島港フェリーターミナルは県の施設になるので、県に伝えておきます。トイレかどうか分かりませんが、またどのように管理しているかも聞いてみたいと思います。	船舶局	5月28日に、鹿児島港フェリーターミナルを管理している県地域振興局へ改善の要望をしました。今後も、状況を確認しながら、解決に向けた対応をお願いしていきます。
13	桜洲校区公民館運営審議会 男性	㉑ フェリーについて、下の方は警備員と船員がいっぱいいる。上の歩道橋の方は、受付しかいない。高齢化の桜島において、改札口から船に乗る間までのことか、安全な体制ができないのか。大島航路に乗った時に、船員が荷物を持ってくれたり、大島航路の方々は優しかった。桜島フェリーは人に対するサービスが足りないのではないかと思う。また、フェリーを降りてバスに乗るが、31分発とかいう端数の出発がある。もっと端的な数字では出来ないのかと思う。住民が利用しやすい時間設定というか、やさしさがないのではないかという感じがする。	フェリーについては、今後整備計画を立てて、新たな庁舎を作るようにしていますので、歩道橋を含めハード面をしっかりしていく予定です。人に対するもてなしが一番大事なものですので、研修等含めて船舶局の方で進めていきたいと思います。	船舶局 交通局	【船舶局】 お客様に対するおもてなしについては、接遇研修等を通じ更なるサービス向上に努めてまいります。  【交通局】 今後のダイヤ編成の参考とさせていただきます。